

# 新しい

響き合う20年代!

発明、狂乱、そして次世代へ

vol.13 3/9(日)

～自作を弾く・ピアノ表現の可能性2020s～

小倉美春 (作曲、ピアノ)

vol.14 4/5(土)

～サウダージ・ジャポニカ 魔都・上海1920s～

沢田穠治 (コントラバス、作曲)

伊左治直 (作曲、鍵盤、鳴り物)

廻由美子 (ピアノ編曲)

新美桂子 (ヴォーカル、朗読)

桑鶴麻氣子 (朗読)

vol.15 5/10(土)

～20年代の400年～

寺嶋陸也 (ピアノ)

vol.16 7/20(日)

～アジアを繋ぐ次世代 2020s～

曹佳愛 (チョウ・カエ) (ピアノ)

vol.17 8/2(土)

～バルトーク・ルネサンス1920s～

大瀧拓哉 (ピアノ)

vol.18 10/11(土)

～キャバレー!ガーシュインと禁酒法時代1920s～

HISASHI x 田中信正 x 廻由美子

(ヴォーカル)

(ピアノ)

(ピアノ)

vol.19 11/1(土)

～冬の旅1820s～

松平敬 x 中川賢一 vol.5

(バリトン)

(ピアノ)

全日程 15:30開演(15:00開場)

各日程 4,000円(限定25席、完全予約制)

ご予約 <https://atarashii3.official.ec/>

チケットレスとなっております



予約

マネジメント/お問合せ アーティフィニティ

MAIL [info@artiffinity.com](mailto:info@artiffinity.com) TEL 03-6780-2299

会場 B-tech Japan 東京スタジオ

東京都港区虎ノ門1-1-3 磯村ビル1F

@B-tech Japan 2025

Vol.13～19

主催:「新しい耳」実行委員会 協力:B-tech Japan



小倉美春

©Sho Kubota

vol.13  
3/9(日)

～自作を弾く・ピアノ表現の可能性2020s～

小倉美春(作曲、ピアノ)

小倉美春:Pas (2018) Labyrinth (2018)

小倉美春:Nijimi (2023)

小倉美春:Rifrazione (2024、ヴェネツィア・ビエンナーレ委嘱作品、日本初演)

20年代シリーズの幕開けは、作曲とピアノ両輪で世界のコンクールで賞に輝き、ラジオ・フランスやヴェネツィア・ビエンナーレからの委嘱など、その活躍は目覚ましい小倉美春。まさに2020年代の新しい音楽家。ピアノ作品の自作自演は未来にどんな光を放つのだろう。



伊左治直

vol.14  
4/5(土)

～サウダージ・ジャポニカ 魔都・上海1920s～

沢田穠治(コントラバス、作曲)、伊左治直(作曲、鍵盤、鳴り物)、  
廻由美子(ピアノ編曲)、新美桂子(ヴォーカル、朗読)、桑鶴麻氣子(朗読)  
伊左治直、沢田穠治のオリジナルから、ラグタイム、ラテン、ジャズ、歌謡、フレンチ・クラシックまで、さらに吉行エイスケ、金子光晴らの朗読を挟み、魔都へ誘う音絵巻。

1920年代の世界都市、上海。様々な言語で情報が飛び交い、ジャズが鳴り響き、アヘンと脂粉と金と犯罪の香りが舞う都市で、サウダージ(郷愁)は一層募るだろう。



新美桂子

vol.15  
5/10(土)

～20年代の400年～

寺嶋陸也(ピアノ)

S.シャイト:イギリスの運命の女神の歌

F.クーブラン:クラヴサン曲集 第3巻 第13オールド

L.v.ベートーヴェン:6つのバガテル Op.126

F.シューベルト:12のレントラー D790 Op.171

D.ショスタコーヴィチ:アフォルズム Op.13

寺嶋陸也:瞑想曲

17世紀から21世紀、音楽の軌跡は世界の動きそのもの。それぞれの20年代に、人間は何を見て、何を聴いてきたのか。寺嶋陸也の鋭い眼差しが牙え渡る!



寺嶋陸也

©matron2024

～アジアを繋ぐ次世代 2020s～

曹佳愛(チョウ・カエ)(ピアノ)

ウンスク・チン:Six Piano Etudes No.1" In C"

尹伊桑:Interludium A for Piano

戸島美喜夫:ヴェトナムの子守唄

高橋悠治:光州1980年5月 ～倒れた者への祈禱～

H.Lee:entends, entends la passé qui marche...

2020年代の20代音楽家、曹佳愛の視線は、ごく自然に東アジアに注がれている。しなやかに、そして力強く、それはまるで水を得た魚のよう。

vol.16  
7/20(日)



大瀧拓哉

vol.17  
8/2(土)

～バルトーク・ルネサンス1920s～

大瀧拓哉(ピアノ)

B.バルトーク:15のハンガリー農民の歌 (1914/1918)

マイクロコスモス(1926~39)第3巻~第6巻より

戸外にて(1926) / ピアノソナタ(1926)

大地から宇宙へ飛んだようなバルトーク。大地の鼓動から天体の音まで聴き取る聴力、集中力を表現するのに、大瀧拓哉ほど相応しいピアニストはいないだろう。オルレアン国際ピアノコンクールの優勝後、その完成度、集中度の高さは聴き手を別世界へ誘う。



田中信正

©Shuheï NEZU

～キャバレー!ガーシュインと禁酒法時代1920s～

HISASHI(ヴォーカル) X 田中信正(ピアノ) X 廻由美子(ピアノ)

G.ガーシュイン:パリのアメリカ人

G.ガーシュイン:ソング・ブック

他、禁酒法時代に輝いた音楽の数々!

ジャズはもとよりオリジナルや日本の現代歌曲でも光彩を放つヴォーカリストのHISASHI。切れ味鋭く、現代絵画のようなアート性高いピアノを聴かせる田中信正、それに廻が加わり、禁酒法で地下に潜ったキャバレーにお誘いします!

vol.18  
10/11(土)



中川賢一

vol.19  
11/1(土)

～冬の旅1820s～

松平敬(バリトン) X 中川賢一(ピアノ) vol.5

F.シューベルト:冬の旅(全曲)

自由、革命 思想が厳しく排除された1820年代のウィーン体制。その中で生き、音楽をしたシューベルト。声高にではなく、密かに息づかせる自由への意志は、だからこ強い。超バリトンx超ピアニストによる、生きるための「冬の旅」!



沢田穠治

©Olena Kushnarova



廻由美子



桑鶴麻氣子



曹佳愛(チョウカエ)



HISASHI

©Lasp Inc



松平敬

全日程  
15:30開演  
(15:00開場)



atarashii-mimi.com